

労働市場レポート

■岡山県2月の有効求人倍率 1.42倍

—岡山県は全国第2位（全国平均 1.09 倍・トップは福井県 1.55 倍・香川県 3 位・広島県 16 位）

※正社員の求人倍率 1.17 倍（前年同月比 0.33 ポイント減）

■ハローワーク別の有効求人倍率

	岡山県	岡山	津山	倉敷中央	玉野	和気	高梁	笠岡	西大寺
求人倍率	1.42	1.57	1.40	1.65	1.48	1.11	1.90	1.12	1.50
有効求人	43,856	15,889	4,761	13,184	1,262	1,497	1,495	2,534	3,234
有効求職	28,936	10,118	3,395	8,014	853	1,345	786	2,270	2,155

※求職者のうち 45 才以上の正社員希望者 8,040 人を含む。—岡山労働局雇用労働統計／3 年 2 月より—

■職種別求人・求職状況（岡山労働局／令和3年2月）

職種	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
専門的・技術的職業	8,001	3,298	2.43
事務的職業	3,010	5,855	0.51
販売の職業	4,622	1,549	2.98
サービスの職業	8,767	2,572	3.41
保安の職業	687	143	4.80
生産工程の職業	4,898	1,987	2.47
輸送・機械運転の職業	2,591	947	2.74
建設・採掘の職業	2,625	343	7.65

■ワンポイント解説

岡山県令和3年2月の労働市場は、有効求人倍率が 1.42 倍と 2 ヶ月連続で上昇しました。

県下全体の有効求人数 43,856 人（前年同月比 16.0%減）・有効求職者数 28,936 人（前年同月比 13.1%増）。

岡山労働局は「感染リスクを避けて求職活動を控えていた人が仕事探しを始めたり、コロナ禍で収入が減少した業種から転職先を探す人が増えたりして、新規求職が伸びている。」としています。

新規求人数は前年同月比で 18.9%減。産業別でみると、人手不足が慢性化している建設業が 15.3%増となる一方、新型コロナのダメージが大きい宿泊・飲食サービス業は 40.9%減と大幅に下落しました。その他では、製造業 6.9%減、運輸業・郵便業 21.8%減、卸売・小売業 28.9%減、医療・福祉 7.8%減、サービス業 19.9%減となりました。

—数値は岡山県労働局令和3年3月30日発表を引用—

春は別れと出会いの季節です。

「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」…人は多くの別れと出会いを経て成長していきます。

いつもの春とは違う状況の中であっても、巣立っていき、新たな出発と出会いを迎える少年少女、若者達の前途にエールを送りたいと思います。

「春はあけぼの。やうやうしろくなり行くやまぎはすこしあかりて…」枕草子の冒頭です。

“春眠暁を覚えず”春の朝は眠いものですが、早起きしてウォーキング等をしてみてはいかがでしょうか。

春から初夏にかけての心地よい季節を感じるができるかもしれません。

■今月の俳句歳時記 さまざまの事おもひ出す桜かな — 笈の一文 —

■今月の名言 事業を左右せよ 事業に左右せられるなかれ — フランクリン —